

肱川

発行
肱川町企画調整室
電話肱川局 120
印刷 エヒメコープ印刷部

昭和48年12月末現在	
世帯数	1,126戸
人口	2,136人
男	2,191人
女	4,327人
計	(前月比7人増)
(転入)	11人
(転出)	4人
(出生)	3人
中居谷平	藤原恵子ちゃん
大居谷	後藤里美ちゃん
中居谷	西浦美由紀ちゃん
(死亡)	3人
下敷水	和気 安市さん
月の尾	山内ミフサさん
上鹿の川	岩本 信之さん

自治行政の推進には住民の理解と協力が必要であると考えます。町が、住民の理解と協力を得るための手段として、これからの広報は重要なものとなるので、より充実したものにならなければならないと思います。

今後の広報「肱川」について検討してもらうために、広報をつくる側と読む側との会を持ちました。

広報は行政と住民のパイプ役

総務課長 四十九年は町にとっても試練の年である。私達は、物量の繁栄に慣れ、人間的、地域的エゴになっている。これから人間のコミュニケーションのシヨンを仕組む必要がある。そういう仕事を住民の理解をより深めることが大切で、広報活動がこれから、より重要な時代となってきた。

広報活動は、広聴活動を含め、行政側と住民が十分に意見を交換しあうものでなければならぬ。

読ませる工夫と働きかけを

司会者 広報の現状と今後



熱心に討議する代表者の皆さん

この程度かも知れないが、読ませる工夫と働きかけが大切である。読まなければ損するということも、兵頭 本人(世帯主)が読むだけになりやすい。常

委員 行政広報は公民館報のように、ひとつの問題を深く掘り下げることでできにくい。

橋本 部落常会の伝達事項とのかみ合い記事はよい。七号での年金の解説記事は良かった。あれを見て届け出をされた方もある。

下石 常会問題の復習として利用している。各課の問題をこまかく載せてほしい。

浜田 「おたずねに答えて」は記事にぎざぎざのために必要ならばだが、投書に期待するのはむづかしいのではない。

委員 電話でもかまわないから利用してほしい。

橋本 主要産物である花木の記事がないが、農協で編集されている。

岩田 青年団などへの配付も考えてほしい。青年は行政を知らない。

浜田 組織への配付は良い

常に必要な情報を求めるように

司会者 広報をつくる側としての意見は。

委員 住民が行政を正しく批判されることを期待する。それにはよく行政を

住民の紙面への参加を期待

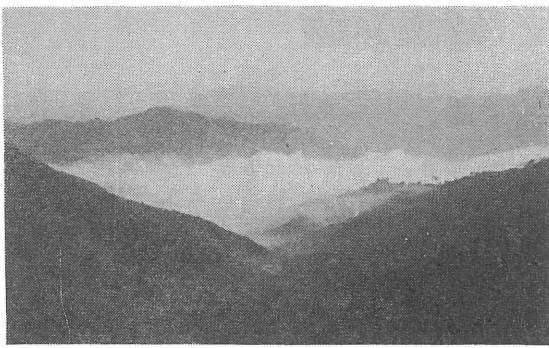
司会者 今後の広報のあり方は。

橋本 広聴活動を活発にしてほしい。肱川町は意見を集めるというところが遅れているのではない。

委員 二月頃、係長が各部落を訪ね、意見を交換する機会を持ちたいと思っている。

増田 これからの広報は、親しみを感ずることが大切である。それには座談会、投書などで住民の紙面への参加をふやすとか写真などで視覚にうったえるということが大切である。

上田課長 一住民として考えれば町報、館報、農林



大地に根をおろした生活と 花咲く文化の創造を目ざして

―藤川町長 年頭のあいさつ―

謹んで年頭、れるさ中の年明けを迎えま

のご挨拶を申しあげます。

一口に申し、昨四十八年は、メッキのはげた日本素顔の日本の弱さ、みにくさをまざまざと見、驚嘆した年でありました。

そして、二月、三月の経済危機説が朝野をあげて真剣に論じら

謹んで年頭、れるさ中の年明けを迎えま

のご挨拶を申しあげます。

一口に申し、昨四十八年は、メッキのはげた日本素顔の日本の弱さ、みにくさをまざまざと見、驚嘆した年でありました。

そして、二月、三月の経済危機説が朝野をあげて真剣に論じら

だよりともそれぞれ役目を果たしていると思う。

人間開発を根底に、お互いの力を結集し、健康で明るい生活環境づくりに、一段の努力を傾けたいと存じております。

私以下職員一同、自戒自重、自ら能力の啓発につとめ、一致協力して自治の進展につとめる覚悟でございます。

町民の皆様におかれましても、自主自來、自らの郷土社会は自らの手で、の合言葉のもと、一層の協賛をたまわることをお願いいたします。

年頭のご挨拶といたします。

◆◆◆

今後は、年代別、組織別の人達の意見を聞ける会を多く持ち、多くの意見を聞き、あせらずに改善して立派な広報にしてほしい。

司会者 本日は大変貴重な御意見をありがとうございました。

町の日誌から

12月5日～
1月4日

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 12月5日○人権相談(公民館) | ○教育委員会(公民館) |
| 7日○公民館成人大学(公民館) | 17日○小藪消防栓施設竣工祝賀会(中小藪集会所) |
| 10日○インフルエンザ予防注射(大谷小) | 18日○町常会(公民館) |
| 11日○第91回町議会定例会招集(公民館) | 21日○母親学級(公民館) |
| 12日○第91回町議会委員会(公民館) | 23日○上鹿野川集会所落成祝賀会 |
| 13日○教育委員会(公民館) | 24日○不燃物収集(町内) |
| 14日○町議会定例会最終日(公民館) | 28日○仕事納め |
| | ○大掃除 |
| | 1月4日○仕事始め |

お知らせ

母親学級
とき 二月十五日
午後一時～三時
ところ 肱川町公民館

内容
◎妊産婦の歯科衛生について
◎助産婦による診療
◎その他各種検査

離乳食講習会
とき 二月二十七日、午前九時三十分
ところ 肱川町公民館
午後離乳食講習会のおと乳児健康相談を実施いたします。



飲酒運転は絶対にやめよう



第91回定例会であいさつする藤川町長

議会の動き

人件費一二、六四三千元予算補正

一般会計総額四七五、四九二千円に／

第九十一回 定例会は、十 二月十一日か ら十四日まで の四日間の会 期で開かれ、 上程された議 案十五件と昭 和四十七年度 歳入歳出決算 認定について 審議し、全て の議案を原案 どおり可決、 認定して閉会 した。	決算認定について ○一般会計 四一、七一六、五八一円 ○特別会計 一〇三、一七九、九〇九円 計 五一四、八九六、四九〇円 二、肱川町大字の区域の一 部変更および小字の廃止 について ○大字西から大字大谷へ四 筆区域変更 ○大字大谷の小字が全部廢 止された。
上程議案 一、昭和四十 七年度肱川 町歳入歳出	四、肱川町老人医療費給付 条例の一部改正について 五、職員の休日、休暇なら 公社定款の一部変更につ いて

(会計)	(補正額)	(累計)
	千円	千円
一般会計	27,992	475,492
国保 "	8,538	73,328
農業共済 "	1,028	12,978
水道 "	318	3,738
給食センター "	1,781	21,543
歯科診療所 "	77	1,188
計	39,734	588,267

(歳出額の内訳)	
人件費	12,643千円
建設事業費	10,663
補助金等	10,452
その他	5,976
計	39,734

六、職員との給与に関する条例の一部改正について ○人事院の勧告にもとづいて改正された。	九、脇川町犬の危害防止条例の制定について ○犬を捨てることの禁止や犬はつないで飼うことの義務などが決められた。
七、特別職の職員との給与に関する条例の一部改正について ○三役の給料が改正された八、教育長の給与に関する条例の一部改正について	十、教育委員の任命について ○椎野筆清委員の辞任により東繁太郎氏を委員に任命した。
	十一、補正予算について（六件）

みんなの声

「おたずねします」

名義変更の手続きについて

ある事業を計画するために、地籍図を閲覧しました。ところが、私の土地がAさんになっておりました。縦覧期間中に見落した私も悪いのですが、次の点についておたずねします。なお、国土調査室で手続きはできるでしょうか。

- 一、Aさんが生存している場合。
- 二、Aさんが死亡している場合。

中居谷M生（三十五才）

「おこたえます」

地籍調査の成果を登記所へ送付後、誤りを

発見した場合、法の規定により、町長から管轄登記所に対し登記簿等の修正に必要な資料を添付した書面をもって修正の申し出をすることが出来ます。おたずねの一、の件はAさんの承諾書があればよいことになります。おたずねの二、の件は相続人の承諾書が必要で、す。(相続が必要でない場合は相続権者全員の承諾書が必要)

町の事務的な誤りがある場合は、町が責任を持ちますが、責任の持てない場合もありますので一度国土調査室までおいで下さい。

国土調査室長

肱川町長寿番付表

昭和49年中に満85才以上になるおとしより
(年齢は49.1.1現在)

東						西					
地位	部	落	氏名	生年月日	年令	地位	部	落	氏名	生年月日	年令
				明治	才					明治	才
横網大	共小	栄嶺	長田トクノメ	12. 11. 12	94	横網大	郷	市川ナヨ	明	12. 12. 2	94
関	峯	峯	長竹本ヨシ	13. 6. 6	93	関	久下	大田恒	14. 5. 23	92	
関	脇	中	谷サクヲ	14. 6. 25	92	関	峯	西田	15. 10. 31	91	
小結		森	兵頭茂市	15. 4. 19	91	小結	汗	中山野	16. 1. 3	90	
				16. 5. 10	90		脇	保谷生	16. 9. 18	90	
前頭	広	常	宮岡キヲ	17. 12. 6	89	前頭	大	平津	子ヨ	18. 1. 2	88
" 2	"	"	岡村悦三郎	18. 3. 21	88	" 2	中	大玉井	ハツ	18. 6. 6	88
" 3	大	和	片山松太郎	18. 9. 6	88	" 3	京	稲田ハツ	ツノ	19. 2. 28	87
" 4	上	峯	沖平蔵	19. 3. 12	87	" 4	森	兵頭繁	太郎	20. 6. 22	86
" 5	苑	野	富永永蔵	20. 9. 16	86	" 5	汗	兵頭タキ	サ	20. 10. 4	86
" 6	森	尾	兵頭ナカヨ	20. 10. 17	86	" 6	広	高橋キ	ホ	21. 4. 8	85
" 7	藤	之	正阿弥金蔵	21. 5. 6	85	" 7	下	高村	サ	21. 5. 9	85
" 8	下	峯	宗治	21. 7. 14	85	" 8	鹿	堀井	音夏	21. 9. 2	85
" 9	上	峯	谷石ウラ	21. 11. 12	85	" 9	小	川常	久保尚	21. 11. 15	85
十両	瓜	生	上田チカ	22. 2. 10	84	十両	下	鹿野川	村田サ	22. 3. 12	84
" 2	広	常	西田貞美	22. 3. 28	84	" 2	上	森山	松本菊	22. 5. 31	84
" 3	月	野	山下内ト	22. 8. 4	84	" 3	上	鹿野川	橋本本	22. 8. 5	84
" 4	中	津	山崎サヲ	22. 8. 15	84	" 4	月	鹿野川	富永カ	22. 9. 1	84
" 5	町	生	三瀬泰三	22. 9. 3	84	" 5	道	野尾	川中	22. 9. 26	84
" 6	瓜	谷	不破ツル	22. 10. 4	84	" 6	市	中之	戸	22. 11. 6	84
" 7	"	"	堀川エカ	22. 12. 7	84	" 7	下	鹿野川	松タカ	22. 12. 17	84
" 8	大	和	水本キヲ	22. 12. 31	84						

肱川町長寿番付発表

日本人の寿命は、食生活、ぎましました。
の改善、地域環境の整備および医学の目ざましい進歩等によって、大幅に伸びて
明治二十五年には、男四十三才女四十四才であったものが、昭和四十七年には、男七十一才女七十六才になりました。
当町でも、六十才以上の年令層は、現在十九%に達しています。
臓病を追放すると、寿命はさらに大きく伸びるものと考えられます。
そこで、老人の余生、生

きがいをするかという
老人福祉が、これからの大
きな課題となってきたいま
すが、行政はもちん家族、
近隣社会が一体となって
その解決に努めなければな
りません。
なお小町における八十五

才以上のおとしよりの番付
を作りましたが、これから
も元気で家のため社会のた
めに頑張っていたきたい
と思います。

肱川町の老人階層表

年 令	人 口	对 比
0才~59才	3,503人	81.09%
60~64	227	5.25
65~69	193	4.47
70~74	171	3.96
75~79	124	2.87
80~84	74	1.71
85以上	28	0.65
合 計	4,320	100.00

行 司	老人クラブ連合会長 相野 繁雄	収入役 尾下 林太郎	勸 進 元 町 長 藤川 守仲	社会福祉協議会長 谷本 恒雄	助 役 安倍 淳孝	検 査 役 民生委員総務 森本 鶴雄	生活福祉課長 松岡 満里
-----	--------------------	---------------	-----------------------	-------------------	--------------	--------------------------	-----------------

六十才以上のえられます
現在十九%に達
そこで、老人の余生、生
議 会 議 長 永田茂喜

女七十六才にな
臓病を追放すると、寿命は
さらに大きく伸びものと考え

し、もうすぐ全人口に對し二割になります。

しかも長生きの敵といわれている脳卒中、ガン、心

共同募金は 143,000円
ご協力ありがとうございました

去る十月から十二月まで実施して来ました赤い羽根共同募金は、総額一四万三千九百四十三円となりました。ご協力まことにありがとうございました。

募金内訳	
戸別募金	八六、一四四円
街頭募金	一七、三四五円
職域募金	三九、一四三円
その他	一、三一一円
計	一四三、九四三円

(共同募金会)

歳末たすけあい募金も
117,800円あつまりました

月	皆んなで明るくお正月
を合言葉に毎年実施	
しております歳末たすけ	
あい運動の募金の収支は	
次のとおりです。ありが	
とうございました。	
(募金)	
一般	九三、三三〇円
大谷白百合会	一、〇〇〇円
個人	四、〇〇〇円
町職員	八、四〇七円
その他	一一、〇六三円
(配分)	
長期療養者	
一七人	二五、五〇〇円
施設入所者	
一六人	二四、〇〇〇円
生活被保護者	
一四人	一六、八〇〇円
ボーダーライン	
二三人	三七、五〇〇円
保護施設	
五カ所	一四、〇〇〇円
(共同募金会)	

きがいをするかという
老人福祉が、これからの大
きな課題となってきたいま
すが、行政はもちん家族、
近隣社会が一体となって
その解決に努めなければな
りません。
なお小町における八十五

才以上のおとしよりの番付
を作りましたが、これから
も元気で家のため社会のた
めに頑張っていたきたい
と思います。

畜産冬季大学の開設

多数聴講してください。

区分	期 日	場 所	講 師	テ ー マ
養豚	2月4日 10時より	宇和島農協 (宇和島市栄町港)	埼玉県大里郡寄居町 寄居養豚センター 代表者 石田 薫	私の養豚経営 の現状と環境 保全対策
養鶏	2月5日 10時より	P T A会館 (松山市歩行町1丁目)	京都大学農学部 助教授 農学博士 吉田 忠 成	激動する国際 環境と我国養 鶏産業の再編 成
酪農	2月7日 10時より	野村町公会堂 (野村町野村12)	浜松市東三方町 農業法人浜松ファーム 代表者 松浦千枝雄	私の酪農多頭 経営の実績と 将来の展望
肉用牛	2月8日 10時より	西条市民センター (西条市四軒町)	京都大学農学部教授 農学博士 並河 澄	肉牛の肥育と 肉質

お知らせ

交通事故
相談所の
開設

三、相談員 県交通事故相談所相談員
四、受付 午前十時から午後三時まで
五、相談料 無料

なお、愛媛県交通事故相談所

地籍調査実施前後の地目別筆数面積変動表

地 目		地籍調査前			地籍調査後		
		筆数	面積	摘 要	筆数	面積	摘 要
宅 地	田	884	50.23		630	65.09	
	畑	1,113	53.96		844	44.30	
	林	229	4.85		195	6.09	
	山	1,713	219.60		1,321	404.29	筆界未定地 8筆を含む
	野	118	6.35		177	3.33	
	地	110	44		127	87	
	境	2	14		3	27	
	溜	19	65		27	94	
	堤	24	59		17	90	
	公衆用	32	56		—	—	
公衆用	—	—		1	22		
種 地	7	0.08		61	1.30		
学 校 用 地	7	0.39		2	0.64		
火葬場敷地	1	0.01		—	—		
獸畜埋瘞場	1	0.01		—	—		
長 狹 物	—	—		18.79	道路 14.38 水路 4.41		
合 計	4,260	337.86		3,405	547.03		

さきに実施した大字大谷（白石、広常、久保、影地）地域の成果が出ました。結果は次の表のとおりです。